

二中コミュニティ・スクールだより

～市川市立第二中学校学校運営協議会～
「夢・命・絆」

令和6年度第1号
(通算第21号)
会長 小林 俊之
(文責 野手 裕之)

「令和6年度第1回学校運営協議会」報告

令和6年5月27日(月)に、令和6年度第1回学校運営協議会が、第二中学校多目的室において委員12名の出席のもとで開催されました。

次第

1. 学校長あいさつ
2. 委員の任命、自己紹介、会長・副会長選出
3. 協議
(1) 令和6年度学校運営についての基本方針の承認及び意見
4. 報告および意見交換
(1) 教育活動及び学校の様子
5. その他

1. 学校長あいさつ

協議に先立ち、杉山校長から、「お忙しい中、お集まり頂き感謝いたします。生徒は新しい年度を迎えて、いい表情で学校生活を送っているところです。昨年度も支えて頂き感謝しております。学校と学校運営協議会との関係が充実してきていると感じており、今年度も有意義なものになっていって欲しいと思いますので、よろしく願いいたします。」といったあいさつがありました。

2. 委員の任命ならびに会長・副会長の選出

市川市教育委員会学校地域連携推進課から委員の任命があり、下記の13名が令和6年度学校運営協議会委員として任命されました。各委員から自己紹介があり、その後、会長と副会長の選出がありました。会長に小林氏、副会長に黒木氏が選出されました。

小林会長より、「引き続き会長を拝命しました。昨年度からコロナが5類になって、子どもたちの活動も活発になって嬉しく感じているところです。人が環境をつくり、環境が人をつくると良く言われていますが、よりよい二中のために、ご協力のほどよろしくお願いいたします。」といったあいさつがありました。

市川市立第二中学校学校運営協議会委員

小林 俊之	真間南部自治会会長
松藤 恒夫	須和田第三自治会会長
関根 功子	民生委員・児童委員
斎藤 康	市川市立第二中学校同窓会会長
谷口 俊晴	二中PTA副会長
増田 真理子	前二中PTA副会長
野手 裕之	地域学校協働活動推進員
江戸 正人	地域学校協働活動推進員
黒木 政継	元市川市立第一中学校校長
久保田 哲也	千葉県立市川昂高校教頭
杉山 哲	二中校長
大林 大介	二中教頭
井上 智史	二中教務主任



3. 協議

令和6年度第1回の学校運営協議会のため、令和5年度第5回学校運営協議会において承認されました「学校運営（経営）の基本方針」に基づき杉山校長から改めて説明があり、その後に協議をした上で、全会一致で承認されました。内容は以下のとおりです。

（1）学校教育目標を実現する生徒像・学校像（目指す学校像）



	目指す生徒像	目指す学校像（経営重点）
夢	夢に向かっていく生徒	夢の実現への力を育む学校
命	命を大切にする生徒	命を大切にする心を育む学校
絆	絆を互いに深め合う生徒	生徒、教職員、保護者、地域住民が信頼の絆で結ばれるチーム学校

（2）目指す学校像を実現するための具体的な取り組み

①令和6年度の目指す方向

主体的な学び、主体的な活動を推進する方策の充実と協働

②夢の実現への力を育む学校

◇確かな学力→「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

- ・個別最適な学び…指導の個別化（特性や学習進度に応じた指導）と学習の個別化（一人一人に応じた学習活動の提供）
- ・協働的な学び…自分の良さや可能性を認識し、他者の価値や考えの尊重

◇これまでの実践とICTの最適な組み合わせの実現（キュビナAIの導入など）

③命を大切にする心を育む学校

◇豊かな心

→自己肯定感・自己有用感の向上…生徒の主体的な活動の推進

→よりよく生きるための基盤となる道德性の涵養（ネットリテラシーの取組など）

◇健やかな体→規則正しい生活習慣の確立（アウトメディアの取組）と体力向上の推進

④生徒、教職員、保護者、地域住民が信頼の絆で結ばれるチーム学校

◇信頼される学校（情報発信と情報共有の一層の充実など）

◇絆を互いに深め合う生徒（多様性を認め、尊重しあう意識の確立）

(3) 委員からの意見など

委員から次のような意見や要望（一部）がありました。

- ◆引き続き、「夢・命・絆」という素敵な学校教育目標をベースに教育活動を進めて欲しい。
- ◆信頼される学校について、生徒はもちろん保護者からも信頼されるために、保護者の意見をアドバイスとしてとらえることも大切だと思います。
- ◆地域との連携で、日頃から学校のために手伝いたいと思いつながりが薄い部分もあるので、生徒会と自治会などが一緒に話し合う機会を設けてもらいたい。
- ◆二中がどんな教育をしているかをホームページにも掲載したらどうか。
- ◆これからも子どもたち一人一人に応じた教育などをお願いします。
- ◆二中の取り組みは生徒の未来にとって素晴らしいものですが、より一層生徒や保護者の理解を得られるように努力して欲しい。

4. 報告及び意見交換

(1) 教育活動及び学校の様子について

令和6年度の教育活動に関して、大林教頭から報告がありました。

◇子どもたちは様々な活動に取り組んでいて、特に6月6日に開催を予定している体育祭に向けて練習をしています。けがが目立ってきて心配しています。

◇生徒たちも先生たちもいろいろな場面において熱心に取り組んでいると感じています。

◇不登校が1クラスに2名程度いて、その子にあった対応を探っています。

オープンスクールの日の様子



給食のカレーに「おいしかった」との声をたくさん聞くことができました



昼休みには多くの二中学生が元気に外で楽しそうに過ごしていました



二年生が「ENAGEED」によるキャリア教育を真剣に取り組んでいました

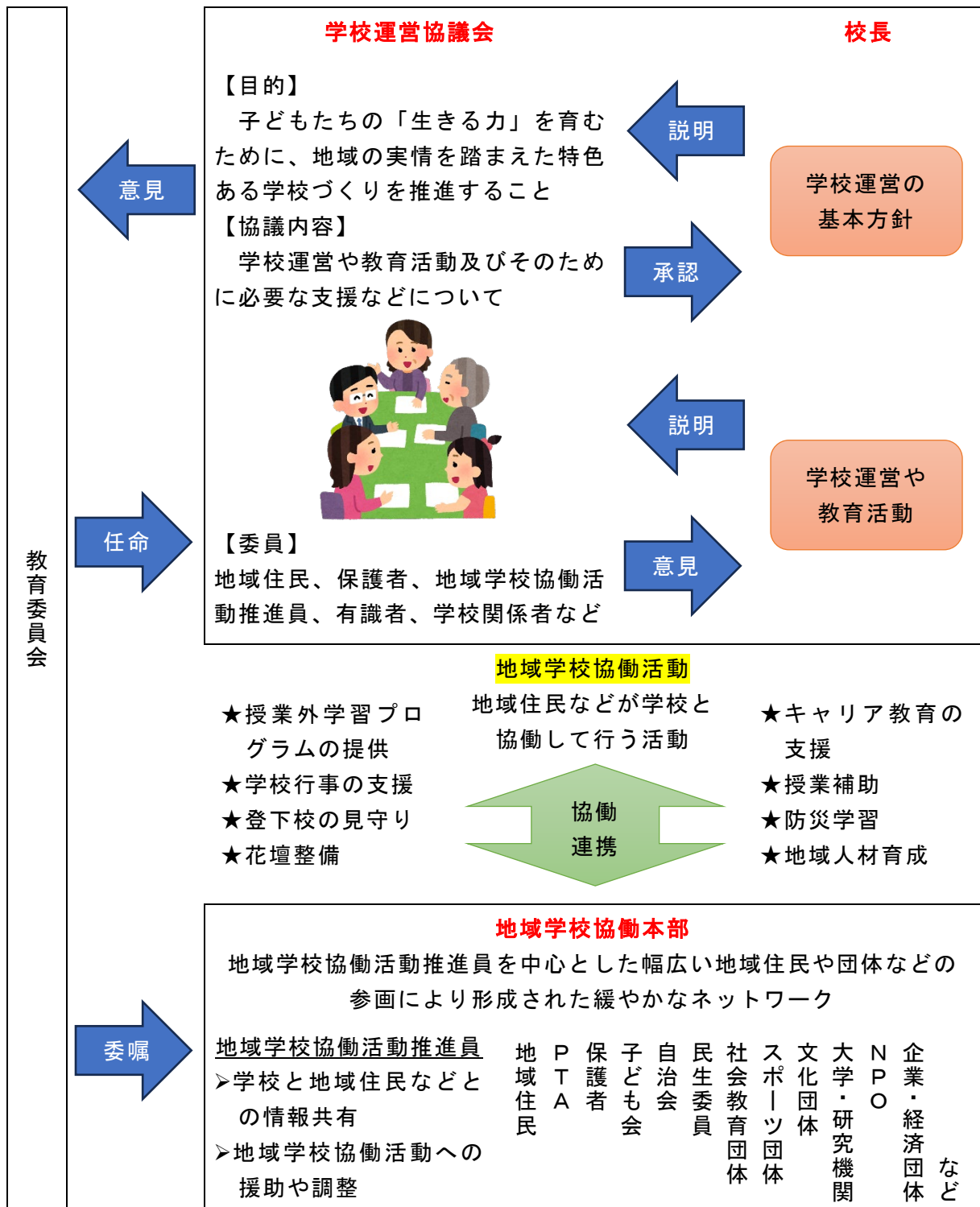
令和6年度地域学校協働活動推進員講座について

地域学校協働活動として授業外学習プログラムの提供【「夢・命・絆」プロジェクト】を予定しております。

7月6日（土）に、「命の講座」として、「折れない心を育てる いのちの授業」（協力：一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会）と「PUSHコース（救急救命講習）」（協力：認定インストラクター）を実施します。詳しくは、すでに配布しています案内をご覧ください。

このほかに、「ライフプランニング授業」（協力：ソニー生命）、「（避難所運営ゲームHUGに基づく）避難所運営講座」（協力：市川市地域防災課）、「『楽しいコミュニケーション』を考えよう！」（協力：Lineみらい財団）などの実施に向けて準備をしています。

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部について¹



¹ 以下の資料を参考にして作成しています。

- ・ 中央教育審議会「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」（平成27年12月）
- ・ 文部科学省「これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」（令和2年3月）
- ・ 文部科学省「教育白書（令和4年度）」